

明聖Topics

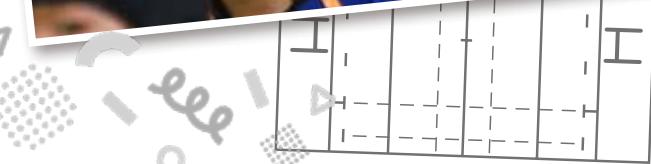
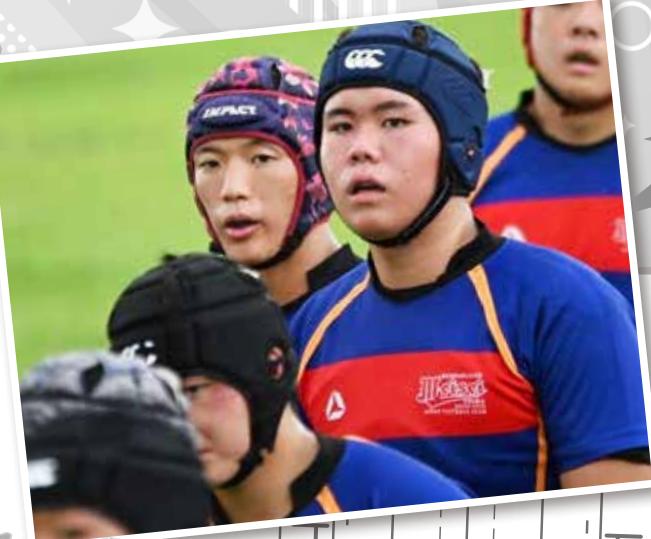
発行:学校法人 花沢学園
明聖高等学校
千葉市中央区本千葉町10-23
TEL.043(225)5622

明聖トピックス

2024.OCTOBER No.131

URL:<https://www.meisei-hs.ac.jp>

部活動特集



令和6年千葉市大会ベスト4
部（7人制）2位リーグ3位
昨年優勝したこの大会は、
今大会千葉明徳高校と合同
チームを組み、2連覇を目指
して挑みました。初戦の千葉
北高校戦を落としてしまい、
2戦目の千葉工業高校に勝利。
リーグ2位で順位戦に進

1回戦
対 千葉経済 55対5 勝利
2回戦
対 幕張総合 15対40 敗退

出。その後、千葉南高校と接
戦の末敗退、検見川高校戦は
中、同じ学校から3名が選ば
れた事は快挙です。今後の活
躍に期待したいと思います。

千葉市大会では、県立千葉、
千葉明徳、磯辺、市立稻毛と
共に合同チームを組み、合同
Aとして大会に挑みました。

1回戦は千葉経済高校に快
勝。2回戦の幕張総合
高校は県ベスト4の
強豪です。前半早々
に3トライ差をつけ、
プラン通りのゲーム展
開でしたが、実力のあ
る幕張総合高校の粘り
強い攻撃により一気に
逆転され、春の関東予
選大会のリベンジはでき
ませんでした。優勝を目指
していた大会であった
からこそ悔しい結果とな
つてしましました。



休みの最後には東京遠征を行
い強豪チームと練習試合を行
い確かな手ごたえを感じ、目
標はベスト8以上を掲げて準
備をしました。

初戦は千葉工業高校。試合
開始1分30秒で先制トライを
奪い、コンバージョンキック
も決め、良いスタートが切れ
ました。その後は取つて取ら
れてのシーソーゲーム。前半
は19対22の3点ビハインドで
折り返し。1トライで逆転で
きる点差であればこの試合
を制することができると言
ふ。そこで後半に入りました。

後半は合同Bのベースで
進み、残り7分まで29対
29の同点。最後の5分で
ラッシュをかけるゲーム
プランであります。最後の5分で
千葉工業のファジカルの
強さに押しきられ、5
分で3トライを奪われ
る展開となり、そのま
まノーサイド。1回戦
敗退となりました。明
聖高校は1、2年生だ
けの若いチームです。今回流
した涙を忘れずに、これから
も成長していくといつも思
います。「少人数でも夢はかなえら
れる」この1年間が勝負です。
皆さん応援よろしくお願ひし
ます。

1回戦
対 千葉工業 29対48 敗退

硬式野球部

硬式野球部は7月に3年生が引退し、新チーム発足後初の公式戦となる秋季大会に挑みました。予選1回戦は安房拓心高校と対戦しました。初回、1番中島徳弥さん（2-1）がフェンス直撃となる2塁打で出星すると、打線がつながり4得点。最高の滑り出しをしました。先発投手、山本弘希さん（2-3）は安定感抜群の投球で相手打線を5回無失点で抑えました。その後も野手陣の頑張りもあり9対0で迎えた6回2死3塁で、代打佐々木三太さん（1-1）のタイムリーヒットでコールド成立。初戦を10対0（6回コールド）で突破しました。

県大会出場をかけた代表決



り、磯辺高校と対戦しました。初回、森内海翔さん（2-4）のタイムリーヒットで先制するとその後も着実に追加点を取り、5回終了で5対1とリードしました。しかし7回、磯辺高校の猛攻を受けます。連打で1点を返され3点差となり、尚も2死満塁で放たれた打球は、レフトの頭を越され、走者一掃。いつきに同点に追いつかれました。8回も流れを止められず、勝ち越し点を奪われます。最終回2死

で敗れました。
敗者復活戦に回ることになりました。磯辺高校と対戦しました。初回、森内海翔さん（2-4）のタイムリーヒットで先制するとその後も着実に追加点を取り、5回終了で5対1とリードしました。しかし7回、磯辺高校の猛攻を受けます。連打で1点を返され3点差となり、尚も2死満塁で放たれた打球は、レフトの頭を越され、走者一掃。いつきに同点に追いつかれました。8回も流れを止められず、勝ち越し点を奪われます。最終回2死で敗れました。

から松井由良さん（2-2）、中島さんの連打で同点、逆転のチャンスを作り打席には、緊張感のある試合の中でミスが続いてしまい大きく離され、2対9（8回コールド）で敗れました。

（2-2）。しかし後1本が出ず敗戦となりました。



われ勝ち越されます。その裏に松永康さん（1-1）の内野ゴロの間に1点を返し、中盤まで食らいつく展開に持ち込みました。しかしその後、緊張感のある試合の中でミスが続いてしまい大きく離され、2対9（8回コールド）で敗れました。

頼りになる打者砂塚太貴さん

（2-2）。しかし後1本が出



明聖高校新体操部は、創部3年目のまだまだ新しい部活動ですが、所属する選手が大変素晴らしい、常に好成績を収めています。

その中の1人が、通信コースの岡田華英さん（2-1）です。岡田さんは中学時代までも大変優秀な成績を収めていましたが、昨年の入学間もない5月にあつた関東大会千葉県予選で優勝。勢いそのままに関東大会でも優勝と

高校へ入っても華々しいスタートを切りました。

また昨年11月の千葉県新人体育大会（新人戦）でも優勝し、この結果をもとに出場権

ボン第2位、クラブ第3位

という素晴らしい成績を残しました。

ここまで、高校生の大会の実績を挙げていつただけでも

快挙ですが、これら以外にも、

このように、明聖高校通信

コースには、高校の勉強と自

身の活動を両立させながら、

どちらも輝かしい結果を挙げ

続けている生徒がいます。そ

して、その中でも岡田さんは、

間違いなく日本の新体操界を

代表する選手に成長します。

そんな仲間が同じ高校にいる

ことを誇りに、引き続き明聖

高校新体操部への熱い応援をお願いいたします！

新体操部



を獲得した、今年3月の全国高等学校新体操選抜大会では第3位で、1年生としての1年間を締めくくりました。

2年生になつてもとどまる

ことを知らず、今年の6月にあつた千葉県高等学校総合体育大会で優勝。8月に開催された全国高等学校総合体育大会（インターハイ）への出場を決めました。そのインターハイでも個人総合第3位（リ

ハイ）で第3位という成績を収めています。これらの大会の結果により、9月下旬より開催される世界新体操クラブ選手権（イオンカップ）、11月上旬に開催される全日本新体操選手権大会への出場を決めています。

全日本新体操ユースチャンピオンシップでは女子個人総合で優勝、ちはなカップで第2位、全日本新体操クラブ選手

権で第3位という成績を収めています。これらの大会の結果により、9月下旬より開催される世界新体操クラブ選手権（イオンカップ）、11月上旬に開催される全日本新体操選手権大会への出場を決めています。

ここまで、高校生の大会の実績を挙げていつただけでも快挙ですが、これら以外にも、このように、明聖高校通信コースには、高校の勉強と自身の活動を両立させながら、どちらも輝かしい結果を挙げ続けている生徒がいます。そして、その中でも岡田さんは、間違いなく日本の新体操界を代表する選手に成長します。

そんな仲間が同じ高校にいることを誇りに、引き続き明聖高校新体操部への熱い応援をお願いいたします！

eスポーツ部

大会報告

ナイトの2種目に参戦しました。

部門に池永雄一さん(3-4)と小野裕翔さん(2-2)が出場しました。両チームとも後

半までの生き残りを狙う堅実なプレイで攻め進めていきましたが、後半の激しい戦闘に一歩及ばず、予選敗退となり



コカ・コーラ社主催によるeスポーツの大会、stag e-0が行われました。

今回明聖高校では5対5のチーム戦を行うゲーム、オーバーウォッチ2(通称OW2)、そして100人のバトルロイヤル

形式で一位を目指すフォートナイトの2種目に参戦しました。決勝トーナメントの順位によってポイントを獲得し、全10ゲームで稼いだポイントの合計によって順位を決定し、上位40チームに入る

ことができれば決勝に進出となります。今大会では合計1000を超えるチームが出場し3時間にわたる激闘が繰り広げられました。明聖高校からは通常のバトルロイヤル部門に深澤悠登さん(2-1)

と小西誠人さん(2-2)が出場。リード部門に池永雄一さん(3-4)と小野裕翔さん(2-2)が出場しました。両チームとも後半までの生き残りを狙う堅実なプレイで攻め進めていきましたが、後半の激しい戦闘に一歩及ばず、予選敗退となり



ました。

OW2部門では地方ごとにブロックが分かれ、明聖高校は関東①ブロックに配属。オンラインでのトーナメントに挑みました。チームリーダー林田幸大さん(3-4)を中心

功した明聖高校が少しづつ押し上げ、合計1時間半の激闘の末、仙台育英を制してグランプリファイナルへの出場を獲 得しました。取材、配信もある

初めての大舞台にチーム全員が興奮と緊張を隠せずにいました。決勝進出をかけて対戦するのは福岡芸術高校。相手はエースプレイヤーの猛攻に苦しみながらも果敢に攻めますが一歩届かず、惜しくも敗れました。最終結果は全国3位。創設以来の快挙を成し遂げました。試合中もリードの林田さんを中心に最後まで諦めず、そして楽しむことを忘れないプレイを続け、明るく、メンタルの強いチームという印象を与えました。

eスポーツ部は皆がゲームを楽しみ、成長することを目指に、次に控える全国高校生eスポーツ選手権に向けてこれからも頑張っていきます。



硬式テニス部



令和6年度 千葉県高等学校 新人テニス地区大会

大会個人の部が8月28日(水)と9月2日(月)に行われました。全128名で予選リーグ戦を行い、上位3名が県大会に出場できます。本校からは4名出場しました。

●シングルス

川上博史さん(2-1)が健闘し、ベスト16と好成績を收めました。県大会出場とはなりませんでしたが、次の大会

善戦するも相手の速いサーブやラリーを制することができず敗戦しました。結果はベスト32という結果で幕を閉じました。

次の大会は来年の春です。

今の2年生は最後の大会となります。最後の大会に向けて練習を積み重ね今回の結果を超えるよう精進していきます。今後も応援お願いいたします。

につながる結果となりました。また細田琉生さん(1-4)は初出場ながらも1回戦で善戦しました。惜しくも勝利とはなりませんでしたが、今後が楽しみな試合展開を繰り広げました。

●ダブルス

ダブルスの試合では、川上さん・田中浩太郎さん(2-1)のペアと、山本千寛さん(2-1)・細田さんペアが出場しました。65組参加し上位3組までが県大会に出場することができます。山本・細田ペアは善戦するも惜しくも1回戦敗退となりました。川上・田中ペアは田中さんの丁寧なブレイとサーブと攻撃的なテニスが持ち味の川上さんのスタイルがかみ合い1回戦を難なく突破しました。2回戦はペアのミスも続き辛勝。ペアのミスを修正し3回戦へと進みました。3回戦では

1回戦

2回

3回

4回

5回

6回

7回

8回

9回

10回

11回

12回

13回

14回

15回

16回

17回

18回

19回

20回

21回

22回

23回

24回

25回

26回

27回

28回

29回

30回

31回

32回

33回

34回

35回

36回

37回

38回

39回

40回

41回

42回

43回

44回

45回

46回

47回

48回

49回

50回

51回

52回

53回

54回

55回

56回

57回

58回

59回

60回

61回

62回

63回

64回

65回

66回

67回

68回

69回

70回

71回

72回

73回

74回

75回

76回

77回

78回

79回

80回

81回

82回

83回

84回

85回

86回

87回

88回

89回

90回

91回

92回

93回

94回

95回

96回

97回

98回

99回

100回

101回

102回

103回

104回

105回

106回

107回

108回

109回

110回

111回

112回

113回

114回

115回

116回

117回

118回

119回

120回

121回

122回

123回

124回

125回

126回

127回

128回



**熱戦が続いた
体育スクーリング！**

通信X2



7月26日(金)千葉ポートアリーナにて、今年度第一回体育スクーリングを実施しました。当日は気温も高いく中でしたが、はつらつとしたプレーが見られました。

今回は事前に種目を決めるアンケートを行い、バスケットボールに決定しました。当日は各クラス対抗による試合が展開されました。生徒たちは一生懸命にボールを追いかけ、得点を狙いました。どの試合も白熱

がっていました。

今回のバスケットボールでは技術だけでなく、仲間との絆や協力の大切さ達成感と共に、チームワークの大切さを改めて実感することができました。

今回のバスケットボールでは技術だけでなく、仲間との絆や協力の大切さを学ぶ良い機会となりました。来年もさらなる熱戦を期待しています！

編集後記



天は二物を与えずとは言いますが、例外はあるのです。彼と比べてしまうと天が私に与えたものは一物もないように思えてしまいます。ですが、何か得られるように、彼のように努力を積み重ねようと思いまして。

さて、次号では体育祭や明聖など行事の様子をお伝えできればと思います。

木村
光寿